

基底に1つだけ補足

(証明)

$V \subset \mathbb{R}^n$ は n 次元空間である。 $\vec{p}_1, \dots, \vec{p}_l \in V$ の基底である。

$\vec{p}_{l+1} \notin V \Rightarrow \vec{p}_1, \dots, \vec{p}_l, \vec{p}_{l+1}$ は LI

(証明)

$$c_1 \vec{p}_1 + \dots + c_l \vec{p}_l + c_{l+1} \vec{p}_{l+1} = \vec{0}$$

である。 $c_{l+1} \neq 0$ であると $\vec{p}_{l+1} = -\frac{1}{c_{l+1}} (c_1 \vec{p}_1 + \dots + c_l \vec{p}_l) \in V$

と矛盾するから $c_{l+1} = 0$ である。 $\bigwedge c_1 \vec{p}_1 + \dots + c_l \vec{p}_l = \vec{0}$ より $c_1 = \dots = c_l = 0$ である。 \square

この定理は、この定理を示す。

定理 $V \subset W \subset \mathbb{R}^n$ は n 次元空間 V, W である。

V の基底 $\vec{p}_1, \dots, \vec{p}_l$ の基底である。

$\Rightarrow W$ の基底 $\vec{p}_1, \dots, \vec{p}_l, \vec{p}_{l+1}, \dots, \vec{p}_m$ が存在する。

この

補題

$V \subset W \subset \mathbb{R}^n$ は n 次元空間 V, W である。

(1) $\dim V \leq \dim W$

(2) $\dim V = \dim W \iff V = W$